

アヌココロ アイヌ イコロマケシル ソンコ

# アヌアヌ

国立アイヌ民族博物館ニュースレター



NATIONAL AINU MUSEUM

ANUANU

016

2024.06



《親子熊》(部分)個人蔵 撮影:露口啓二

北海道を代表する  
木彫家、藤戸竹喜の  
初期から晩年に至る代表作と  
藤戸が収集した  
アイヌコレクションを  
紹介いたします。

詳しくは2ページへ!



[第8回特別展示]

生誕90年記念

## 藤戸竹喜の世界展

The World of FUJITO Takeki

ミュージアム Action! / 基本展示室のこの展示を見て!! / 調査研究最前線⑨ / 博物館 Pickup!

見て見て! 園内サイン④ / 国立アイヌ民族博物館からのお知らせ / ウポポイってこんなところ⑬

●見どころ●

2014年にイランカラブキャンペーンの記念として、札幌駅西コンコースに設置された《エカシ像 クリムセ(弓の舞)》。多くの人々に愛されるこの作品を、本展会場でご紹介できることになりました。凜として立つエカシ像は、北海道の歴史と文化を物語る先人の姿を表しています。藤戸はエカシ(長老)やフチ(祖母)の姿を刻み、生きた証を形に残したいと、先人の肖像彫刻を制作してきました。「威厳と哀愁の造形」を間近に感じていただければ幸いです。



《エカシ像クリムセ(弓の舞)》(部分)2014年 一般社団法人札幌大学ウレシクラブ蔵

撮影:大滝恭昌



熊彫り一筋の藤戸が35歳で挑んだ観音立像。②《樹霊観音像》(部分)1969年 イチイ 正徳寺蔵

展示資料数  
**116点**  
木彫91点  
アイヌコレクション25点  
(予定)



①《親子熊》(部分)2004年 クス 個人蔵



木の中から物語を取り出す。それが藤戸の超絶の技。⑤《熊狩・コタンへ》1980年 クルミ 個人蔵



海中で貝をひろうラッコ。そのリアル。⑥《ラッコ、潜る》(部分)1993年 エンジュ 個人蔵

序章

旭川から阿寒へ

1章 樹霊観音

2章 エカシとフチ

3章 森羅の生命

終章

終わりのない旅

4章 狼と少年の物語

本展は序章、終章、特別展示を含め7つのテーマで構成しています



熊に恋を語らせることもできる。60代、円熟期の傑作。③《白熊》(部分)1999年 クス 個人蔵

【第8回特別展示】  
生誕90年記念

藤戸竹喜の世界展  
The World of FUJITO Takeki

2024 6.29 SAT. - 8.25 SUN.

・月曜日および7/16(火)は休館 ※7/8(月)・9(火)・15(月)・8/12(月)・13(火)は開館  
・6/29(土)~7/19(金)は9:00~18:00  
・7/20(土)~8/25(日)は夜間営業日9:00~20:00

会場 国立アイヌ民族博物館2階 特別展示室

観覧料 ウポバイ入場料とは別に特別展示観覧料が必要です。  
・大人/300円 ・高校生/200円 ・中学生以下/無料

【主催】国立アイヌ民族博物館、北海道新聞社  
【後援】公益社団法人北海道アイヌ協会  
【協力】鶴雅リゾート株式会社、一般財団法人前田一步園財団、正徳寺、一般社団法人札幌大学ウレシクラブ



詳しくは「藤戸竹喜の世界展」特設サイトをご覧ください  
<https://event.hokkaido-np.co.jp/fujito>

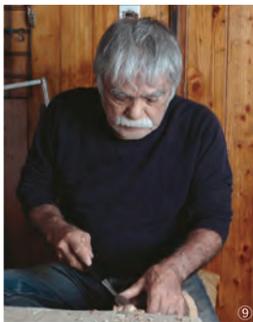
①~⑨ 撮影:露口啓二

氷上をのっそり歩く母熊と好奇心いっぱいの子熊たち。④《白熊の親子》(部分)1999年 クス 個人蔵

今、北海道を代表する木彫家、藤戸竹喜(ふじとたけき、1934-2018)の驚異的な仕事に熱い眼差しが注がれています。

藤戸竹喜は、北海道の美幌町に生まれ、少年期を木彫り熊の職人で賑わう旭川市近文で過ごしました。熊彫りの名工として知られた父・竹夫のもと、12歳から熊彫りを始め、15歳には、一人前の職人として木彫り熊を店頭で彫り始めました。以来一貫して木彫制作に取り組み、1964年、30歳で北海道釧路市阿寒湖畔に民芸品店「熊の家」とアトリエを構えて独立。アイヌ民族の伝統的な彫りの技を受け継ぎながら、熊、狼、狐やクジラ、ラッコ、エビ、カニなど北に生きる動物たちや、先人たちの威厳あふれる肖像彫刻へと作域を広げ、独自の芸術世界を創造しました。

生命あるものへの深い愛情に根ざした生氣あふれる表現は、国内外から高く評価され、2015年に北海道文化賞受賞、2016年には文化庁から地域文化功労者として表彰されています。本展では、藤戸竹喜の仕事の全容を、初期から晩年に至る代表作約90点によって紹介するとともに、藤戸竹喜が受け継ぎ、収集したアイヌコレクションをあわせて紹介します。



藤戸竹喜 (1934-2018)

特別展示

藤戸竹喜のアイヌコレクション

木彫に打ち込む一方で、先人たちが残した衣服や宝刀を集め、自宅や店舗に展示していました。本展では、そのなかから優品を厳選してご紹介します。



制作は没年の4月。雌熊にそっと手をかける雄熊、妻へのあふれる思いがこもっているようだ。⑧《語り合う熊》(部分)2018年 クス 個人蔵

関連イベント Event

【ギャラリートーク(2階特別展示室)】6/29(土)、7/14(日)、8/10(土)・11(日)・25(日)  
【映画上映会(1回交流室)】6/30(日)、8/3(土)・17(土)・24(土)  
【スペシャルイベント】7/15(月)祝 ※詳しくは当館ウェブサイトをご確認ください。



《旭川展》

【会 期】2024(令和6). 9/14(土)~2024(令和6). 11/17(日)  
※休館日:9/17(火)・24(火)・30(月)、10/7(月)・15(火)・21(月)・28(月)、11/11(月)  
【会 場】北海道立旭川美術館  
【主 催】北海道立旭川美術館、北海道新聞社、藤戸竹喜の世界展実行委員会  
【後 援】旭川市、旭川市教育委員会  
【入場料】一般1,300円(1,100円)、高大生800円(600円)、中学生500円(400円)  
※小学生以下無料(要保護者同伴) ※( )内は前売り、10人以上の団体料金  
【前売券販売】2024.6/20(木)~9/13(金)  
※9/14(土)以降、ローソンチケット、セブンチケット、チケットぴあ、セイコーマート、道新プレイガイドオンラインストアにて当日券を販売予定。

巡回展

Touring Exhibition

# ミュージアムAction!

博物館では展示以外にも、さまざまな取り組みを行っています。  
このコーナーではこれらの活動内容について紹介します。

## アイヌ文化でつながる 博物館等ネットワーク(愛称 プンカラ)の取り組み

### Punkar

愛称【**プンカラ**】とは、アイヌ語でブドウやサルナシなどの植物の蔓のことを意味し、本事業の「つながり」や「広がり」から連想した名称です。

プンカラは、アイヌ文化の振興・啓発に寄与することを目的としています。国立アイヌ民族博物館は、博物館等やアイヌ古式舞踊等を伝承している団体など、国内外の博物館・美術館・研究機関や博物館等事業に関係のある北海道内外69の会員機関とネットワークをつくり、アイヌの歴史と文化に関する資料情報の集約と利活用の促進など、さまざまな事業を進めています。



令和5年度 第3回研修会



令和5年度 第3回研修会 集合写真



会員機関限定サイトのトップページ

### 令和6年度事業

- **プンカラ研修会の開催**  
会員機関の職員を対象としたアイヌの歴史・文化に関する研修会を年1回開催
- **会員機関限定サイトの運営**  
会員機関同士での情報交流・相談する機能のほか、さまざまな情報の共有(レファレンス、イベント情報など)
- **会報『プンカラ通信』の発行**  
活動報告など、年2回発行
- **プンカラ共同研究の実施**  
当館および会員機関との共同研究事業をスタートしました
- **協働展示の開催**  
当館および会員機関と協働した展示会を道外で開催



会報『プンカラ通信』



令和5年度 プンカラ協働展示  
会場:文化庁国立近現代建築資料館



令和5年度 協働展示の会場全景



会員機関紹介カード



会員機関学芸員によるギャラリートーク



## 基本展示室の この展示 を見て!!

### 毛皮利用を知る

当館の基本展示室は、見る人の関心にそって自由にまわることが出来ます。今回は「毛皮」をキーワードに資料を紹介します。  
(研究員 澤 櫻子)

#### 毛皮のある暮らし

ふわふわしてあたたかい毛皮は、寒さから身体を守ってくれるものの一つです。基本展示室では、動物の特徴をよくとらえているからこそ生み出された、寒冷地でくらすための生活の道具を展示しています。

**滑る:** アザラシの毛は短く密集しています。樺太ではスキー板の裏側にはって滑り止め(シール)にしていた。シールは、毛が逆立って雪に引っかかることで斜面を登れるようになり、下り斜面だと滑れるようになります。

### ウコアプカシ



アザラシの毛皮をはったスキー板  
場所:ウコアプカシ 私たちの交流

**歩く:** シカの毛皮もアザラシと同じく、滑り止めとして使えます。くつの裏側をみると、斜面を登るときは毛が逆立つように、毛の流れを意識してつくられていることが分かります。

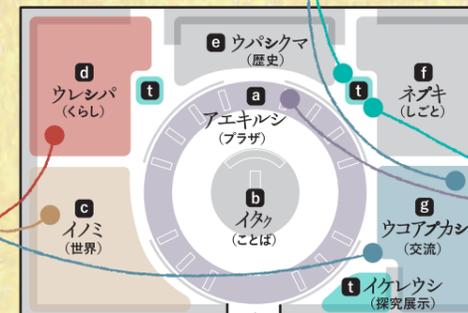
### イケレウシ



シカの毛皮でつくったくつ  
場所:イケレウシ「テンパテンパ」探究展示

### 毛皮と交易

儀礼で使われる漆器や首飾りのガラス玉などを手に入れるために、毛皮は重要な交易の商品でもありました。アイヌが輸出した毛皮やワシの羽は、価値が高いものとして和人社会の武具や馬具に使われたり、ロシアや中国の宮廷文化を支えたりしてきました。



### くらしの変化

時代を経るにつれて「毛皮のある暮らし」は大きな変化を余儀なくされます。松前藩が交易の主導権を握ったことによる交易圏の縮小、明治政府の北海道「開拓」による資源保護を目的とした従来の毒矢狩の禁止、産業利用を背景とした乱獲や大雪の影響によるシカの減少など、今までのくらしを変えざるをえないような事態がつつぎました。

### ウコアプカシ



ラッコ(左)とクロテン(右)の毛皮  
場所:ウコアプカシ 私たちの交流

### イノミ



交易により手にいれた漆器やガラス玉  
場所:イノミ 私たちの世界  
ウレシパ 私たちの暮らし



### イケレウシ



交易の内容量の変化を示したユニット  
場所:イケレウシ「テンパテンパ」探究展示

### アエキルシ



毒矢禁止の延期に関するアイヌ民族からの嘆願書  
場所:アエキルシ プラザ展示

※基本展示室は定期的に展示替えを行っているため、ここで紹介した資料が展示されていない場合があります。

## Report 1 アイヌ資料の科学分析 -X線CTを応用した形状偏差解析-

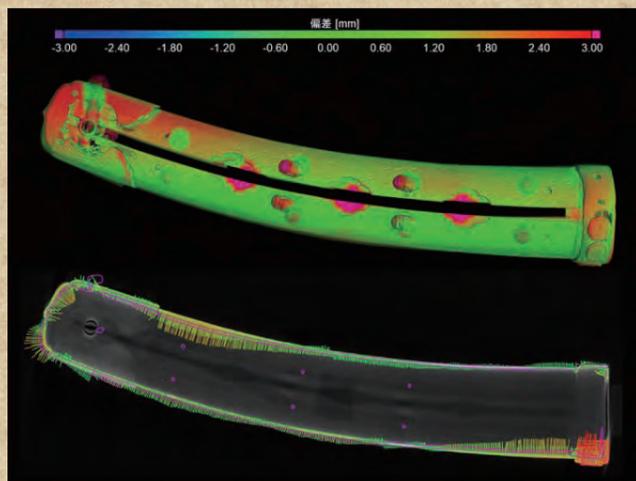
学術領域の中で、調査方法の発展は調査研究を進展する上で新しい成果をもたらしてきました。例えば、年代測定法の発達や出土品の年代推定に影響を与え、科学分析法の発展は美術工芸品の材質技法の解明に貢献しています。当館では、アイヌ資料の持つ情報をより多く

引き出すことができるよう科学分析装置の利用幅の拡大に向けた研究を進めています。ここでは、X線CTを応用した形状偏差の解析について紹介します。

X線CTは、調査対象を破壊することなく断面等の三次元的な立体観察を可能にする装置です。美術工芸品など多くの文化財の調査で実績があります。X線CTの便利ところは、資料内部を自由に観察できるとともに寸法情報も保持する点です。そのため、非破壊では不可能な資料内部の採寸が可能となります。この特

徴を応用すると、2つの異なる資料の具体的な形状差(偏差)の観察に利用でき、三次元モデル上に偏差をカラーで表示した視覚的な観察(形状偏差解析)が可能になります。

資料間の形状偏差を色と数量で表すことができる形状偏差解析は、これまで目視や手採寸で判断される資料形状の観察に新しい展開が期待できます。三次元的な具体的な数量値に基づく形状差が得られることは、資料間の近似性や変化の判断への利用が想定でき、例えば、形態分類や型式変化の詳細観察、規格性や模倣性等の生産背景の検討、資料の保管中や修理前後の形状変化の経時調査など、資料の観察から保管に至る幅広い用途への応用が予想できます。X線CTを応用した方法論的研究が当館で進展しているのです。(研究員 大江克己)



形状偏差解析の解析図(上:三次元モデル 下:断面積層モデル)  
(偏差±0:緑、偏差+方向:緑<赤、偏差-方向:緑>青、偏差±3mm以上:紫)

## Report 2 アイヌ文化に用いられる樹皮繊維の研究

アイヌ文化には、樹皮から採取した繊維で作られたアットゥシと呼ばれる衣服があります。衣服に用いられた繊維を調べると、衣服の製作に関わる特徴を知ることができます。本研究ではアットゥシに用いられるオヒョウやシナノキの繊維の特徴を詳細に観察し、当館の衣服の調査に活用しました。繊維表面の観察には電子顕微鏡(SEM)を用い、繊維断面は薄層切片を作製し観察を行いました。また、道管の充填物などを観察するためにカルツァイス株式会社にご協力いただき、3D X線顕微鏡を用いた

調査も行いました。

オヒョウ繊維のX線画像では、道管の中にニレ科の植物などで特徴的な鍾乳体(図1矢印A)と呼ばれるカルシウム結晶が見られました。また、断面画像を見ると、繊維の最大幅は10um~15umのものが多く、その形状は丸みを帯びたものから多角形のものまでであることがわかりました。次に、シナノキ繊維のSEM画像では、細長い道管相互壁孔(図2矢印B)が見られました。道管内のものは糖類に由来

する道管充填物(図2矢印C)と考えられます。断面画像を見ると、繊維の最大幅は13um~20umのものが多く、断面形状は不均質で多角形のものが多いことがわかりました。

これらの情報を基にすることでオヒョウとシナノキについては、高い精度で区別ができることがわかりました。今後も基準となる繊維の観察例を蓄積するとともに、当館資料を中心とした繊維調査を実施する予定です。(研究員 赤田昌倫)

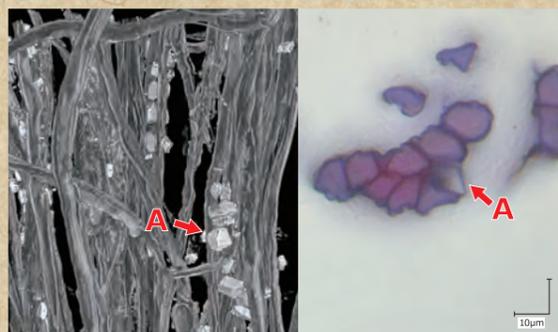


図1 オヒョウ繊維表面のX線画像(左)と断面画像(右)

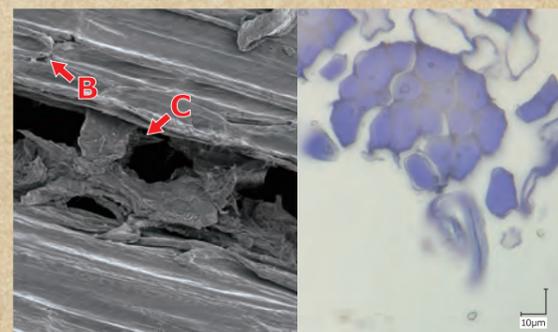


図2 シナノキ繊維表面のSEM画像(左)と断面画像(右)

国立アイヌ民族博物館の  
収蔵、展示資料をピックアップ  
アップして紹介します。

博物館  
Pickup!

クロテンの毛皮とラッコの毛皮

1980年代以降、動物愛護運動や野生動物保護の観点から、毛皮の使用や毛皮目的の狩猟に対しての風当たりが強くなっています。しかし、人類史の中で毛皮は防寒やファッション、権力者たちの権威維持などの面で大きな役割を果たし、そのために大量に利用されてきました。特に、ユーラシア大陸と北米大陸の寒冷地帯はファッション性と希少性に富んだ毛皮

を持つ動物の宝庫で、ヨーロッパや東アジアに君臨した王朝や国々がその資源を求めて勢力を伸ばしました。また、その資源を持つ地域の人々(今日その多くが「先住民族」とされています)も、それらの国々からの需要に応えるべく盛んに美しい毛皮を持つ動物を捕獲し、交易することで、自分たちの暮らしや文化の向上に役立ててきました。アイヌもその

へのクロテンの売り上げが国家財政の3分の1を占めたこともありました。中国でも漆黒で独特の光沢を放つクロテンは皇帝だけが身に着けることができる至高のファッションでした。ラッコも黒く美しい光沢をもつ毛皮として、やはり中国、ロシア、欧米諸国で愛されました。日本でも宮廷や武家の間で喜ばれた時代がありました。方向性が弱く、なでるとどちら側にも毛がなびくラッコの毛皮は、武家の間ではご都合主義で無節操なものとの比喩にも使われました。近代以降の欧米諸国や日本での毛皮需要の増大は、対象となる動物とそれを捕る先住民族双方に悲劇をもたらしました。しかし、近年では資源の保全と先住民族の権利回復の観点から、毛皮獣の狩猟が見直されています。

当館で展示されているラッコの毛皮は国営海の中道海浜公園(福岡市)から寄贈を受けたものです。クロテンの毛皮は筆者がロシアでの調査の時に先住民族の猟師から購入したものです。

(館長 佐々木史郎)



基本展示室「私たちの交流」のラッコ(左)とクロテン(右)の毛皮



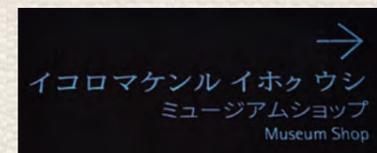
基本展示室「探究展示テンバテンバ」のラッコの毛皮

見て  
見て!  
園内  
サイン

ウポボイの園内サインをご紹介します、皆さまにより広くアイヌ語を知っていただくコーナーです!

## 4 イコロマケナル イホク ウシ ミュージアムショップ

博物館での楽しみといえば、展示を見ることももちろんですが、ミュージアムショップを覗いてミュージアムグッズを探したり、来館の記念になるお土産を買ったりすることという方も多いのではないのでしょうか。イホクが「物を売り買ひする」、ウシは「いつも~するところ」という意味で、イホク ウシで「ショップ」を表現しています。エントランス棟の「ショップ」もこのアイヌ語で表現しています。「ミュージアムショップ」を指す表現は、博物館(ミュージアム)の中にあるショップということを表すために、イコロマケナルがイホク ウシの前に付いています。イコロマケナルは、アヌコロアイヌ イコロマケナル「国立アイヌ民族博物館」という表現の中の「博物館(宝物が入った建物)」の部分です。(研究主査 小林美紀)



※アヌアヌ11号の【見て見て! 館内サイン】「アヌコロ アイヌ イコロマケナル 国立アイヌ民族博物館」もぜひご覧ください。



## 第9回特別展示 驚異と怪異 — 想像界の生きものたち

人類は、常識や慣習から逸脱した「異」なるものを、どのように認識し、説明し、描いてきたのでしょうか。本展は、人魚や龍、河童など、想像界の生きもの多様性について絵画や書籍、祭具などをとおして紹介し、人間の想像と創造の力の源泉を探ります。奇妙で怪しい、不気味だけどかわいい、世界の靈獣・幻獣・怪獣が大集合！

※本展は、国立民族学博物館（大阪府・吹田市）にて2019年秋に開催された特別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち」の巡回展です。

【会場】 国立アイヌ民族博物館 特別展示室

【会期】 2024(令和6)年9月14日④～11月17日⑧

【休館日】 ※月曜日(祝日または休日の場合は翌日以降の平日)

※2024(令和6)年9月16日⑤(祝)、9月17日⑥(祝)、9月23日⑦(祝)、10月14日⑧(祝)、11月4日⑨は開館

【主催】 国立アイヌ民族博物館、国立民族学博物館、公益財団法人千里文化財団

【後援】 公益社団法人北海道アイヌ協会

【協力】 市立函館博物館、千歳市教育委員会、東北大学附属図書館、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館、八戸市博物館、北海道大学植物園・博物館、湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)

詳しくは  
特別展示のウェブサイト  
をご覧ください



この世のキワにいる、  
かもしれない……



## REGNUM IMAGINARIUM Realm of the Marvelous and Uncanny

動物形土製品(縄文時代晩期、日本) [国指定重要文化財] / 千歳市教育委員会蔵

## 博物館相当施設および研究機関の指定について

当館は、文部科学大臣より博物館法第29条の規程に基づく博物館に相当する施設(2024(令和6)年1月31日付)および科学研究費補助金取扱規程第2条に規定する研究機関(2024(令和6)年3月8日付)として指定されました。



## ウポポイ こんな とこ13

### 注目プログラムのご紹介・2024

ゆっくり時間をかけて展示を見たり、素敵なものを見つけて写真を撮ったり。ウポポイの楽しみ方は人それぞれですが、プログラムへの参加も楽しんでいますか？ アイヌのこぼれや遊びに触れるなど、ウポポイでは1日では回りきれないくらいたくさんのプログラムを用意しています。お気に入りを見つけて何度も遊びに来てくださいね！

#### 新登場 イタクトマリ

インスタレーションアートを通して、アイヌ文化の根っこにある「ことば」を「聞いて」「想像して」「話す」体験ができます。



#### 新登場 トンコリをさわってみよう

トンコリ(弦楽器)に触れて音を出してみよう。小学生のお子様からお気軽にご参加いただけます。



#### 伝統芸能上演 「シノツ」/「イメル」

儀礼や日常のさまざまな場面で親しまれてきた歌や踊り、口承文芸、楽器の演奏を異なる演出によってお楽しみいただけます。



#### トウレツポんのおさんぽ

週末はトウレツポんがエントランス棟でおさんぽをしています。一緒に記念撮影もできますよ。 ※中止となる場合がございます。



#### ■お問い合わせ

公益財団法人 アイヌ民族文化財団(ウポポイ内)

住所: 〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3番2号

電話: 0144-82-3914 FAX: 0144-82-3685

メール: info@ainu-upopoy.jp

ウポポイにおける新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みや、プログラム等の詳しい情報はウポポイウェブサイトをご覧ください。

ウポポイ 検索

<https://ainu-upopoy.jp/>

